

国士舘大学大学院入学試験問題用紙

修士課程

研 究 科	専 攻	試 験 科 目	参 考 書 等 持 込
経済学研究科	経済学専攻	多文化社会経済研究	不可

日本社会では労働力不足が深刻化しており、様々な側面において対策を講じる必要がある。業種別にみると、特に建設業で人手不足感が高くなっている。建設業において、なぜ労働力が不足しているのか、また、それはどのように解決できるかを、1,200字程度で論じなさい。

令和8年度 国土舘大学大学院入学試験

出題の意図と採点のポイント

研究科名	経済学研究科 経済学専攻
試験期別	I期
試験区分	一般選考
試験科目名	多文化社会経済研究

■出題の意図

日本社会では少子高齢化により労働力不足が深刻化しています。業種別にみると、特に建設業における人手不足感が高くなっており、様々な側面において対策を講じる必要があります。

建設業界での就業者数減少の背景には、いくつかの要因があると考えられますが、それらを改善しないままでは、日本の社会インフラを整備したり、他の産業の活動基盤として経済活動全体を活性化させたりすることはできません。

重要な社会的役割を担う建設業での労働者不足問題を解決するために、次世代を担う受験生自身に、人材をどう確保し、日本経済を支えていくべきかを考えてもらいたいです。

■採点のポイント

次の点について評価します。

- ・問題文の指示を正確に理解し、それに対応した解答になっているか。
- ・建設業界での就業者数減少の背景にある要因として、現状を客観的に分析し、具体的な例を挙げられているか。(例：若い世代の3K職業離れ、高齢熟練技能者の離職、低賃金、円安による外国人労働者の日本離れ、建設需要と供給のアンバランスなど。)
- ・解決策について深く思考し、具体的な意見が明確に提示されているか。
(例：賃金水準や物価水準の変動に応じた利潤の確保、給与や待遇の改善、安全な労働環境の整備、熟練者による若手技能者の育成、ICTなどの新技術の導入や活用など。)
- ・全体として整合性のある論理展開になっているか。
- ・筆者の意図が伝わるような表現・表記で記述されているか。